

子ども

保育所・学童保育所入所申請

健康

市役所への申し込み問い合わせの時間は、特記がない場合は月～金曜日午前8時30分～午後5時(正午～午後1時を除く)の受付となります。

対象要件あり  
出産・育児支援給付金を支給

コロナ禍で不安を抱えながら出産・育児を行う家庭に対し、対象者1人当たり5万円を給付します。

対 令和2年5月26日～令和2年12月31日に生まれた方  
申 対象者に個別に通知  
注 令和2年度出産・育児支援給付金、都立産院事業、他の自治体の類似事業で給付等を受けた方は対象外  
↓健康推進課 ☎042・321・1801

リニック(立川市若葉町3-3-3) ☎042・538・7135 ※予約不要  
↓健康推進課 ☎042・321・1801

11月の子ども・子育て支援円卓会議

国分寺子育て支援事業者連絡協議会と市の協働開催です。  
日 11月9日(火)午前10時～11時  
場 福祉センター・オンライン(Zoomeアプリ使用) ※通信料は自己負担  
対 子どもに関する活動を市内で行っている個人・団体  
申 事前に [kodomokatei@city.kokubunji.tokyo.jp](mailto:kodomokatei@city.kokubunji.tokyo.jp) または電話で子育て相談室へ  
↓子育て相談室 ☎042・572・8138

提案型協働事業

ゆいぼこの妊娠期講座

妊娠期の体作りと赤ちゃんを迎える家族みんなのできることをお話しします。

日 ①11月7日(日)午前10時～11時30分  
②12日(金)午後6時～8時

場 ①オンライン②ひかりプラザ

対 妊娠中の方とその家族  
※子ども同伴可

定 ①15組②5組

料 無料 ※①の通信料は自己負担

申 10月18日(月)午前9時から氏名・お住まいの町名・電話番号、出産予定日・第何子かを [yuibocco@gmail.com](mailto:yuibocco@gmail.com) または電話でゆいぼっこ～地域につなげるサポーター'S ☎(070)3363-8554へ ※先着順

物 ②母子健康手帳

→健康推進課 ☎(042)321-1801

託児付き栄養講座

血糖値がちよっと高めの方へ 糖尿病予防講座

11月10日(水)午後2時～3時30分  
いずみプラザ

血糖値が気になる・糖尿病ではないが家族の健康が気になる方、血糖をコントロールする食べ方のコツを分かりやすい話で楽しく学んでみませんか。歯科衛生士のミニ講座もあります。

対 市内在住・在勤・在学・在活の方  
講 管理栄養士 定15人 料 無料

申 10月18日(月)午前9時から電話で健康推進課へ ※先着順  
物 筆記用具、あれば健診結果

託 未就学児4人

→健康推進課 ☎(042)321-1801

追加医療機関 鈴木慶やすらぎク  
特定健診(国民健康保険加入の66歳以上の方対象)・後期高齢者医療健診実施医療機関の追加

令和4年4月 認可保育所等入所・転所申請受け付け

令和4年4月に入所・転所を希望する方の申請を下表のとおり受け付けます。4月入所の申請に限り、令和4年3月31日(木)までに出産予定のお子さんの申請も受け付けします。ただし、2月4日(金)以降に生まれたお子さんは、5月以降の選考対象となります。

注 市外保育所等への入所希望者は、当該市区町村に締め切り日や必要書類などを確認のうえ、締め切り日の1週間前までに本市子ども子育てサービス課に申請してください

申請受付日程表

日程(11月)	時間	会場	
		認可保育所等	学童保育所
7日(日)	午前9時～午後5時	本多公民館	
13日(土)		ひかりプラザ	
15日(月)～19日(金)	午前8時30分～午後5時	市役所書庫棟会議室	市役所プレハブ会議室第3
	午後5時～7時(夜間受付)	子ども子育てサービス課(市役所第2庁舎)	
20日(土)～21日(日)	午前8時30分～午後5時	子ども子育てサービス課	

※正午～午後1時を除く。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、期間・会場を複数設定しているの、できるだけ自宅に近い会場を利用してください

→子ども子育てサービス課(内383)

令和4年4月 学童保育所入所申請受け付け

令和4年4月に新規で入所を希望する方を対象に下表のとおり申請を受け付けます。

対 小学1～3年生

広報番組国分寺ぶんぶんチャンネル

保育所・学童保育所入所案内を放映中  
市HP [検索](#) 1026731 または  
右の二次元コードからアクセス可



ファミリー・サポート・センター事業 利用料補助申請

新型コロナウイルス感染症対策に伴う小学校等の臨時休業などにより、ファミリー・サポート・センター事業(\*)を利用した方に、利用料を補助します。

(\*)利用会員と援助会員が会員登録し、子育て支援を行う会員組織

対 令和3年4月1日～令和4年3月31日の小学校・保育園・幼稚園などが臨時休業などになった日 ※土・日曜日、祝日、小学校等の長期休業期間を除く

補助上限額 子ども1人につき6,400円/日(1時間800円×8時間) ※通常の事業、食事代・交通費などの実費は補助対象外

申 令和4年3月31日(木)までに、申請書・育児援助活動報告書(活動時に援助会員が作成)を郵送または直接〒185-0034光町3-13-20子ども家庭支援センターへ

申請書市HPからダウンロード。子ども家庭支援センターでも配布

問 子ども家庭支援センター ☎(042)572-8138(日・月曜日、祝日を除く)

→子育て相談室 ☎(042)572-8138

10月17日～23日は「薬と健康の週間」です

薬と上手に付き合い、健康保持・増進しましょう  
詳しくは市ホームページをご覧ください

ジェネリック医薬品(後発医薬品)を利用しましょう

ジェネリック医薬品は、新薬(先発医薬品)と有効成分で品質・効き目・安全性が同等な薬です。新薬に比べ低価格なため、経済的負担を軽減します。引き続き皆様のご協力をお願いいたします。添加物や剤形が新薬と異なるため、体調に影響が出る場合もあります。かかりつけ医や薬剤師に相談の上、利用しましょう。

お薬手帳を活用しましょう

お薬手帳は、使用しているすべての薬やサプリメントを1冊の手帳に記録することで、良くない組み合わせを確認したり、副作用を防ぐのに役立ちます。スマートフォンなどで利用できる電子版もあります。



残っている薬を整理しましょう

処方されて飲み忘れたまま残っている薬(残薬)はありませんか。自己判断でこれらの薬を利用すると、体の不調につながる場合があります。薬局で、残薬整理の相談に応じてもらえることがあるので、ご利用ください。

ご存知ですか ポリファーマシー

多くの薬を服用した結果、薬同士の相互作用によって効果が弱まる・副作用が強まる・有害な症状が現れる・きちんと薬が飲めなくなる状態で、単に服用する薬の数が多いことが原因になるわけではありません。有害な症状に対してさらに薬が処方され、ますます健康を害するといった悪循環も招きます。ポリファーマシーを防ぐためにも、お薬手帳を上手に活用しましょう。

→保険年金課(内314)

プレイリーダー講習会 フィールドワーク編 火を学ぶ、火で学ぶ 石とヤスリで火おこし体験

11月21日(日)午後1時～4時  
市プレイステーション

大人が遊びの体験をすることで、子どもへの共感を深めます。参加者には、火おこしや遊びの資料を配付します。

対 子どもの遊びに関心がある・子どもと関わる仕事をしている・子育て中の方

定 80人 料 ¥1,000円

申 10月19日(火)～11月17日(水)に、住所・氏名・電話番号、団体に所属している方はその団体名を、[mail@boukenasobibanokai.or.jp](mailto:mail@boukenasobibanokai.or.jp)・電話またはファクスで認定NPO法人冒険遊び場の会 ☎・FAX(042)202-0017へ ※先着順

問 認定NPO法人冒険遊び場の会

→子ども子育て事業課 ☎(042)322-1140(本多児童館)